



教育後援会報

京都府立農芸高等学校

第43号
令和8年3月

発行 京都府立農芸高等学校 教育後援会 編集 同事務局

「あいさつ」
みなさんは失敗予備軍？

教育後援会長 中井 順市



ご卒業おめでとうござい
ます。蛍雪の功成つて卒業
式を迎えられることに心か
らお祝い申し上げます。

みなさんは、農業や環境
に関する学習活動や学校農業クラブ活動を通じて得
た科学性、社会性、指導性(三大活動目標)という
武器と、農業という産業が社会に果たすべき目的や
意義を学んだ若者として、社会に有為な人材として
貢献されることを期待しています。

さて、みなさんの中には、社会に踏み出すことへ
の不安を抱えている人もいるかもしれません。実は
社会に出るといことは、誰しもが失敗や挫折を経
験する可能性を持つ、いわば「失敗予備軍」なので
す。

ある大学の卒業式で、安倍晋三元首相が「卒業
生は失敗予備軍」と題してスピーチをされました。
その中で、

長い人生に失敗はつきもの。
でも、大切なことは失敗から立ち上がること。
そして、失敗から学べたらもっと素晴らしい。

(令和3年度卒業式)

安倍晋三元首相スピーチから抜粋

人生には、大なり小なりに失敗や自分が情けなく
なるほどのことをやってしまうことがあります。人
生には失敗はつきものと言われます。社会から信頼
を得る、成功するのは、リスクを背負い乗り越える
苦しい努力と決断を続けることによって達成されま
す。このスピーチや座右の銘、先人や友人のアドバ
イスなどのちよっとした一言が、苦しい時に助けて
くれるかもしれない。みなさんもこのようなス
ピーチ(言葉)やアドバイスを見つけ出し、これか
らの人生の「お守りの言葉」にしてください。
農芸高校には、生徒を支援する国際交流基金「生

徒たちの頑張りを応援する基金」があります。この
国際交流基金は、意欲的な農芸生の様々な学習活動
を支える資金源となっています。しかし、生徒の学
習や研修活動の活発化は大変うれしいことですが、
基金は年々先細りになり、運用が難しくなっていま
す。

また、京都府立農芸高等学校は4月から京都府
立大学の系属校となり大きな節目を迎えます。今
まで以上に様々な教育活動が展開されることになり
ます。教育後援会としても船南同窓会と、そして、
学校が手を携えて、支援を進めていくことは生徒や
先生方の頑張りに応えることにつながります。卒業
生の保護者の皆さま並びに会員の皆さまには、この
制度の趣旨と運用にご理解をいただき、引き続き更
なるご支援を重ねてお願いいたします。

京都府立大学系属高校開校を 機に伝統と革新の融合を目指す

校長 湯川 佳秀



教育後援会の会員の皆
様には、ますますご健勝に
てお過ごしのこととお喜び
申し上げます。日頃は、本
校教育の推進に温かいご
支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、今年度の農業クラブ活動においては、校
内での活動はもとより、7月の京都府連盟大会、8
月の近畿連盟大会、10月の全国大会に生徒たちが
活躍し、それぞれの大会で入賞をすることができ
ました。11月の第43回農芸祭では、コロナ禍前と
同様に船南同窓会の皆様に模擬店を出店してい
ただき、農芸祭を盛り上げていただきました。教育
後援会の皆様にも府内農業高校特産品の販売など
の御協力をいただき、ありがとうございました。2
年生の長崎県志岐島での研修旅行は天候にも恵ま
れ、充実した研修旅行となりました。そのほか、3
年生の進路達成の状況とともに、この1年間、多

くの教育成果が見受けられましたので、詳しくは
本会報の紙面を一一読んで下さい。さらに、本校公
式Instagramでも「がんばる農芸高校生」の
姿を通して、農芸高校の魅力とともに、農業教育
の魅力も感じていただけるよう発信していますの
で、是非、ご覧ください。

今年度は高大連携をより一層充実させ、1年生
全員が京都府立大学を訪問して塚本学長様の講演
を拝聴し、大学施設を見学させていただきました。
さらに、4年制大学進学希望者の2年生が3日間、
府立大学の講義室で進学講習とともに、研究室を
訪問して大学生・大学院生とともに実験をさせて
いただきました。その他、新たに府立大学と共同研
究をするなど系属高校としての準備を進めて参り
ました。

今後は系属高校開校を機に農芸高校としてこれ
まで培ってきた「実践・技術」という伝統的な農
業教育の強みと大学の「理論・研究・先端技術」
を融合させ、次世代の革新的な農業リーダーを育
成して参ります。

結びに、教育後援会員の皆様には、本校教育の
推進に今後ともご支援を賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。

令和8年4月 農芸高校は 京都府立大学の系属高校へ



第43回 農芸祭報告

農芸感謝祭では、生徒が主役となり、昨年度に引き続きステージパフォーマンスや農芸一流グランプリを通して、学年の枠を越えた生徒同士の交流を深める「交流の部」と、食を通して日々の学習に関わる生命・人・時間など、すべての環境に感謝する「感謝の部」に分けて実施しました。交流の部では、農芸一流グランプリにおいて、各コースが日頃の学習内容をもとに競い合い、それぞれの特色や魅力を発表しました。また、ステージパフォーマンスでは、笑いあり感動ありの発表が披露され、会場を大いに盛り上げました。感謝の部では、コースごとに感謝について話がされ、生命や食、学びについて改めて考える機会となりました。さらに、PTAの方々が農芸カレールを作ってくださり、生徒・教員・保護者がコースごとに分かれて交流しながら食事をすることができました。

さて、今年度の農芸祭は、「いままでの軌跡 これからの奇跡 いまを耕す みらいを育む 新たな農芸へ」をスローガンに掲げて実施しました。夏の猛暑の影響により、生産物の確保が難しいコースもありましたが、工夫を重ねることで多くの品目をそろえることができました。さらに、展示や体験コーナーも昨年度より充実させ、本校ならではの学びや魅力を発信することができたと考えています。第一体育館における府内農芸高校特産物販売ブースの運営をはじめ、国際交流育成基金の募金活動など、農芸教育の魅力を広げるさまざまな活動にご協力をいただき、農芸祭の取り組みの幅を広げることができました。各教科の取組発表や府立大学系属高校のPRも行いました。また、PTAおよび同窓会の皆さまには、駐車場の運営やスタンプリール、模擬店の運営など、多方面にわたり多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今後も、学習成果の発表の場としてだけでなく、農芸高校および農芸教育の魅力により多くの方々に発信できる農芸祭となるよう、取り組んでまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



令和7年度 農業クラブ活動報告

1. 第76回 京都府学校農業クラブ連盟大会

〔ガレリアかめおか〕 7月23日

《プロジェクト発表会》

分野	成績	発表題
I 類		自脱型コンバインを用いたイネの再生二期作の試み～収量1.5倍化計画～
II 類		緑肥を活用した生態系サービスの解明と向上を目指した環境配慮型農業の実施
III 類	優秀	農芸からつながる京都の輪～農芸型肥育の確立を目指して～

《意見発表会》

分野	成績	発表題	発表者
I 類	優秀	京のおいしさぎゅううう～	大矢桃子
II 類	優秀	未来の地球を守るために	木村真弓
III 類	最優秀	センスオブワンダー～キラキラの酪農の未来～	黒澤花歌

《平板測量競技会》〔農芸高校〕 7月28日

【優秀】3年生チーム 西岡悠人、長谷川優太、吉岡純孝、吉田烈（近畿大会出場）
2年生チーム 大西倅生、中村有暉也、山下明潤

《和牛審査競技会》〔碓高原牧場〕 7月30日

【最優秀】嶋恵美子
【優秀】井尻健太、横山智揮、伊藤鯉太郎、山口晴渡

《緑の学園》〔府立農業大学校〕 7月29日

乳牛審査の部
【優秀】木村真弓
農業機械の部
川戸琉靖、傳法礼人、川勝浩輝、平岩虹水、藤本悠世、山下賢太郎、才元星

《農業情報処理競技会》〔桂高校〕 8月8日

奥田祥一郎、辻本幸悠

2. 第73回 近畿学校農業クラブ連盟大会

〔奈良県〕 8月20、21日

《意見発表会》

【優秀】Ⅲ類 黒澤花歌

3. 第76回 日本学校農業クラブ全国大会

〔山梨県・神奈川県・東京都〕 10月23～24日

《農業鑑定競技会》

【優秀】作物 和田真希 【優秀】畜産 大矢桃子
【優秀】野菜 田之上聖歌 【優秀】造園 野々村光翔

4. 第9回 農業アクション大賞

【活動グループ認定】畜産部

5. 今年度を振り返って

今年度の府連大会ではプロジェクト発表会ではⅢ類で優秀を獲得、意見発表では全区分で入賞を果たした。とくにⅢ類においては最優秀を獲得し、近畿連盟大会に出場、優秀賞を獲得した。また、山梨、神奈川、東京の3都県で開催された農ク全国大会では、農業鑑定競技会に8名が出場し、4名が優秀賞を獲得しました。夏休みより定期的に学習会などの取組を行った成果が出たと思います。

令和9年度の全国大会の意見発表会担当校として農芸高校が運営を任されることになっています。生徒実施委員長を中心に2年後の大会に向けて、動き出しています。今後とも農業クラブ活動に御支援いただきますようお願いいたします。



全国大会農業鑑定競技

農芸祭 運営協力

今年度も教育後援会で「国際交流育成基金」の募金活動を行い、来場された方や地域の方、卒業生などから寄附をいただきました。募金いただいた方に、お米や多肉植物を配布しました。また「府立高校農業科生産物販売」の運営も行いました。



第63回技能五輪全国大会、第20回若年者ものづくり競技大会

本年度も造園コース、造園部の取組として、第20回若年者ものづくり競技大会、技能五輪全国大会に参加しました。若年者ものづくり競技大会においては、3年生の野々村光翔が3年連続で出場、前回大会を上回る、銀賞を獲得しました。また、第63回技能五輪全国大会では、その野々村と3年生錦織暉がペアを組んで出場し、社会人のチームが多数出場する中、銅賞を獲得し、本校にとっては、4年ぶりの快挙となりました。ご支援、ご声援ありがとうございます。



第16回全日本ホルスタイン共進会 北海道大会

全日本ホルスタイン共進会とは、70余年の歴史ある共進会であり「乳用牛のオリンピック」と称されています。令和7年10月25日・26日に第16回大会に京都府代表として出場しました。京都農芸はプロの酪農家を交えての中、第15部（5歳以上6歳未満）のクラスで、グロリーオーサクリーメルクラッシュャブルフライ号が、優等賞4席（全国4位）の成績を修めました。また、今大会より新設された、高校出品牛の中から最高位を選ぶ「ハイスクール・デイリー・グランプリ」で、初代グランプリを受賞、さらに、都道府県代表として5回以上の多回出品を果たし、全国の農業高校初・京都府初の多回出品者表彰も受賞しました。本番の瞬間に向け生徒と教員が一丸となって、最高の状態に仕上げ出品できたことに価値があり、得がたい経験であったと思います。さまざまな経験や日々の積み重ねを大切に、社会に求められる力を育てたいと考え、教育活動を進めています。今後とも皆さまの温かいご支援をよろしくお願いたします。



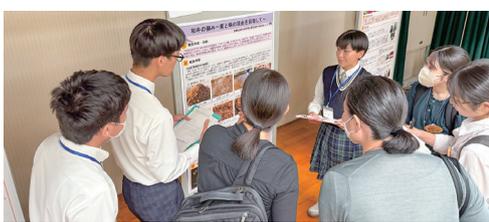
府立大連携



大学キャンパスでの「研究室訪問（夏休み進学講座）」



府立大学にて「学長講演」（1年農業学科群）



農林水産技術交流会（府立大）



府立大学生の畜産体験実習（畜産系コース）



トレニアの交配実験（草花コース）



流木祭（大学学園祭）参加



酒米「京の輝き」共同研究（作物コース）

新制服・記念酒

系属高校の開校に合わせ、制服をリニューアルしました。従来のデザインをベースに、より機能性を高めた仕様となっています。また、これまで作物コースが共同研究し、本校で栽培した「京の輝き」を10%使用した「開校記念酒」を醸造しました。



部活動

および

農業クラブ 専門部

〔硬式野球部〕

硬式野球部は夏に行われる選手権大会での1勝を目標に、日々厳しい練習に取り組んでいます。今年度は前半を終了して2対2の同点と、3年ぶりの勝利も見えていきましたが、後半力及ばず2対6で敗退となりました。新チームを9人で迎えた秋季大会は大きな点差をつけられ敗れてしまいました。が、その後も9人と来てくれた3年生で戦い抜き、練習試合で点差の少ない試合や勝利が増えていきました。これもひとえに農芸高校野球部の礎を創り上げてきた卒業生や先生方、そして支援してくださる皆様のおかげと感謝をしております。来年度も引き続き単独チームとして出場し、再び「夏1勝」を達成することを、選手・顧問一同本気で目指しております。今後も、硬式野球部への御理解・御協力を宜しくお願い申し上げます。



〔陸上競技部〕
陸上競技部では、フィールド競技を中心に

活動しています。3年生の河野選手は公式大会において48.22mを記録し、日々の練習の成果を発揮しました。府大会をはじめとする各種大会に出場し、実戦経験を重ねながら競技力の向上に取り組んできました。また、南丹陸上競技協会主催の記録会にも継続的に参加し、投てきのフォームや助走の確認など技術面の修正を行ってきました。本年度は新たに1年生3名が入部し、トラック競技の選手として活動を開始しました。秋にはさらに1年生1名が加わり、今年度は3年生1名、マネージャー1名、1年生4名の体制で、少人数ながらも互いに刺激を受けながら練習と大会に真摯に取り組んでいます。

〔サッカー部〕

サッカー部は現在活動している部員が3名おり、主に平日の放課後にグラウンドを使って練習をしています。技術や体力向上を主な目標としており初心者でものびのびサッカーを楽しむことができます。また、2025年上半期は落水、田辺、西乙訓高校と合計4校で合同チームを組んでおり、現在は交通の不便さなどを主な理由に離脱しています。なお、合同チームとの関係は続いており、「土日祝日もサッカーの練習がしたい。」「公式戦や練習試合をしたい。」「という生徒は京都市内の練習場になりますが合同チームとしてこれらのニーズをかなえることができます。



〔パワーリフティング部〕

パワーリフティング部は今年度、1・2年生合わせて7名で活動しています。創部より掲げる「心優しき力持ち」をモットーに、競技の強さだけではなく、パワーリフティングを通して人として成長することを大切にしています。昨年7月には兵庫県姫路市で開催された、「2025年アジアアフリカパシフィックパワーリフティング選手権大会」に、2年生の出口くんが出場しました。初めての国際的な大会に緊張しつつも堂々とした試技をしてくれました。高校生が国際大会に出場することは、彼らにとって大きな糧になるはず。今後もそのような素晴らしい経験を一人でも多くの生徒に提供したいと思っています。また昨年12月には、「第9回関西高等学校秋季クラシックパワーリフティング選手権大会」に部員5名が出場し、全員が入賞することができました。次の大会に向けてより一層励んでまいります。引き続き皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



〔バスケットボール部〕

バスケットボール部は、3年生6人、2年生5人、1年生5人で活動しています。今年度は一部の3年生がウィンターカップまで残ってくれてチームを盛り上げてくれましたが、大会等で勝利することができていません。

〔バドミントン部〕

バドミントン部は今年度、1年生5名、2年生3名の計8名で活動しています。部員のほとんどは高校からバドミントンを始め、基礎練習に日々取り組んでいます。今年度は、2年生エースである西村くんが府下大会にも出場し、日ごろの練習の成果を十分に発揮してくれました。また、□丹波地域の学校との交流も増えており、月に1回程度開催される地域の大会にも積極的



ん。高校から始めた生徒もいるので基礎練習を徹底的に行い、勝てるチームを作りたいたいです。まだまだ発展途上なチームですが試合の度に成長し、最近チームワークも良くなってきました。2年生は来年度の9月で最後の大会となります。それまでに目標の達成を選手・顧問一同目指し、今後も応援してもらえ、部活動として、メリハリのある活動を心がけていきます。



に参加しています。バドミントンの技術向上はもちろんのこと、部活動での集団生活や競技への向き合い方を通して、礼儀や思いやり、責任感といった人間性を育むことを大切にしてあります。生徒一人一人が心身ともに健やかに成長していくことを願い、顧問一同、日々の指導にあたってまいります。今後とも本部活動へのご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

〔硬式テニス部〕

今年度、硬式テニス部は1年生6名、2年生6名、3年生6名の18名で活動してきました。5月には、3年生の引退をかけたインターハイ予選団体があり、シード校である西京高校相手に大健闘してくれました。その熱い思いを引き継いだ2年生が、現在テニス部を牽引してくれています。他の部活動との兼部や、放課後実習などで時間のやり繰りが難しい中でも、向上心を持って取り組み、活気ある部活動となっております。初心者から始めた生徒も、今や主力メンバーとして活躍してくれています。これからも皆で農芸高校を盛り上げていきたいと思ひますので、引き続きのご支援よろしくお願ひいたします。



〔卓球部〕

今年度、卓球部は1年生1名だけの部員ですが、地道にコツコツと活動してきました。体幹トレーニングを行い、体を動かす基礎の取り組みや体力作りから始めました。秋の新人戦には出場したのですが、惜しくも1戦目で敗れてしまいました。その後は、サーブの種類を増やし、フォアのドライブ、スマッシュの習得、バックの対応など技術の上達に努めています。来年度は部員を増やし、多様な球種に対応できるようにしていきたいと考えています。応援よろしくお願ひします。

〔剣道部〕

剣道部では、部員が3年2名、1年1名、顧問3名、コーチ1名で活動しています。人数は少ないですが、公式戦での成績を残すことを目指し、日々稽古に取り組んでいます。段位取得にも積極的に取り組んでおり、3年生の部員2名は二段を取得しました。2名とも高校から剣道を始めた部員で、地道に努力を積み重ねた結果、合格に繋がりました。顧問・コーチ4名全員が有段者で、指導体制も充実しています。また、顧問自身も昇段を目指し、稽古に参加し、生徒たちと切磋琢磨しています。夏季休業中、他校の剣道部と本校で合同合宿を行っています。



〔茶道部〕

1年生1名で、本校卒業生の岡本真由紀さんの指導のもと、毎週木曜日の放課後に活動しています。お茶の作法とおもてなしの心を学ぶため、集中して稽古に取り組むよう常に心がけています。しっかりとのお茶の作法を学び、来年度はどこかで披露できればと考えています。今後とも温かい御支援をお願い申し上げます。

〔合唱部〕

昨年、3年生の卒業とともに部員がいなくなり存続が危ぶまれましたが、今年度1年生1名が入部してくれたことで無事に活動を継続することができました。毎週金曜日に亀岡高校にて練習を行い、「亀岡高校×農芸高校合同合唱部」として地域のお祭りやコンサートなどで演奏したり大会に出場したりと積極的に活動しています。今は3月にガレリア亀岡にて行われる定期演奏会に向けて準備を進めているところです。毎年多くの方に来場



〔植物バイオ部〕

今年度の植物バイオ部は、1年生3名の新入部員が加わり、3年生1名と合わせて、4名で活動してきました。主にガーデンハポタンの栽培や温室で多肉植物の栄養繁殖、無菌操作による植物の増殖などを行ってきました。1年生にとっては、コースに所属する前から生物工学コースの学習内容に触れることができ、主体的に活動していました。コース選択の参考やコースに所属した後の学習内容をより深めることにつながりました。今後の成長にも期待します。

〔草花部〕

草花部では、授業で関わるのが少ない植物を栽培し、その活用方法に至るまで「草花と関わる経験」を積んでいます。今年度は3年生1名、2年生2名、1年生3名で活動しました。花壇苗の栽培管理は部員のみで行い、責任を持って栽培した花苗で校内花壇を植栽して草花部の花々が地域を彩りました。今年度はドライブフラワーの活用を広げ



ることを目標に、従来までのハーバリウムに加え、UVレジンを使った髪飾りやキーホルダーを作成し、農芸祭で草花部の作品展示会を実施しました。園部駅での販売会ではクリスマスリースの体験会を開き、多くの方に喜んでいただけました。部員は「たくさんの方に喜んでもらうために」と楽しみながら取り組んでいました。草花部の活動にご支援いただけることで、部員の関心をさらに刺激し農芸高校の専門部だからこそできる経験を積むことができています。今後ともよろしくお願ひいたします。

〔畜産部〕

畜産部は、男子3名・女子5名の計8名で活動をしてきました。京都農芸は京都府で唯一の畜産が学べる学校です。畜産部では「365日の徹底した飼養管理」をテーマに掲げ、畜産の知識や技術をより専門的に、より深く学んでいます。今年度開催された「全日本ホルスタイン共進会北海道大会」では優等賞4席を受賞し、また、「ハイスコール・デイリー・グランプリ」を受賞しました。



この結果は一代で成し遂げたわけではありません。代々受け継いできた畜産部の伝統や飼養管理技術の結晶であり、多くの関係者の方々に、多大なるお力添えをいただいたからこそ掴み取れた栄冠であると考えます。この場を借りて、お礼申し上げます。今後も精進して参りますので、変わらぬ御支援・御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

〔野菜部〕

野菜部では「おいしい野菜づくり」をテーマに活動しています。主な活動日は火・木曜日の放課後で、自主性を大切にしながらさまざまな野菜の栽培に取り組んでいます。春から夏にかけては、ホワイトスイートコーンやハロウィンカボチャ、ゴーヤのグリーンカーテンなど、秋から冬にかけては、ニンニクの定植や、ナバナ、ミズナなどの栽培に励みまし



た。今年度は特に、亀岡市とのコラボレーションによるハロウィンイベントに参加し、部員自ら育てたハロウィンカボチャを使ってジャックオーランタンづくりを行いました。地域の子どもたちとの交流を通して貴重な経験を得ることができ、部員にとっても大きな学びとなりました。季節ごとの野菜に触れながら栽培の楽しさを味わうことができ、充実した一年となりました。来年度も、部員が楽しく野菜づくりに取り組める環境づくりを進めてまいります。引き続き皆さまの温かい御支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

〔造園部〕

造園部では、造園技能検定の取得と校内に

植えられた樹木の剪定作業や実習場の管理、校庭の改修、補修など日々、校内の美化活動に取り組んでいます。昨年度の活動をベ

ースに校内の環境整備から取り組みをはじめました。3年生を主軸に1・2年生に剪定の方法や作業内容など、これまで教わった剪定の技術を後輩たちに伝える機会になっていま

す。校外活動では、実施日が小雨に見舞われましたが、近隣寺院の庭園管理を地域の方々と共に行い、地域に貢献する取り組みができました。さらには、作



庭した都ホテル「ウエルカムガーデン」の手入れを実施して、めぐる季節感を感じてもらえる活動をおこなうことができました。また、愛知県で開催された第20回「若年者ものづくり競技会」には京都府代表選手として出場して、銀賞に入賞することができました。第63回技能五輪全国大会に二人の選手がペアで出場し、敢闘賞を受賞することができました。選手たちは、これまでに積み上げてきた技術を最大限に発揮して頑張ってくれました。

〔環境部〕

昨年10月末に橋梁模型コンテスト（ブリッジコンテスト）が行われました。私たちはコンテストに向けて、30kgの荷重に耐えられ、かつデザインも凝った橋梁づくりを目指しま

した。いざ製作をしてみるとなかなか思うようにはいかず、イメージしていたものを作ることに苦戦をしまし

た。コンテスト当日は修学旅行と重なり、会場には行けず緊張して結果を待ちました。結果は自分たちが十分に納得いくものではありませんが、「一次こそは！」という気持ちになりました。これからもものづくりを通して、達成感を味わうことや専門性の技術向上を目指したいと思ひます。

〔情報処理部〕

今年度の情報処理部は、1年生10名の新入部員が加わり、2年生3名、3年生4名を合わせ17名で活動してきました。ワープロや表計算のスキルアップ、検定試験、農業情報処理競技会に向けた練習を行ってきました。今年度の特徴としては、4月の部活動紹介で、3年生が工夫を凝らした動画をもとに紹介し、情報処理部らしい啓発につながりました。また、1年生の部活動体験では、3年生がプログラミング技術を用いて制作したゲームをすることで、興味をもつことができました。そして、日々の活動で、プログラミング技術を学び、実践することに



つながっています。

教育後援会 事業及び会計報告

令和6年度 教育後援会 事業報告

月	日	事業名	内容
4	9	第42回入学式	役員出席 入会案内
4	27	役員会	次年度役員、代議員会について
6	1	代議員会	R5事業報告・決算、R6役員・事業計画・予算の審議と承認について
5	上旬	生徒募集広報活動支援	広報用ポスター作成・府下中学校配布
8	9	海外農業研修説明会	海外農業研修参加者説明会
11	18	農芸祭	開催協力 国際交流育成基金 募金活動
11	下旬	終身会費納入依頼	11・12月分で徴収
12	6	海外農業研修説明会	海外農業研修参加者説明会
12	24~27	海外農業研修助成	京都府農業学科高校生海外農業研修(台湾)
2	28	第40回卒業式 役員会、選考会議 教育後援会報発行	役員出席 代議員会、次年度役員について 会報第42号発行



令和6年度 会計決算

収入総額 2,510,147円－支出総額 1,944,565円 = 差引残額 565,582円 (次年度へ繰越)

収入の部

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	393,365	393,365	0	前年度繰越額
会費	2,065,900	2,046,650	△ 19,250	通常会費1,651,650円 終身会費395,000円
寄附金	50,000	70,000	20,000	
事業収入	0	0	0	
雑収入	735	132	△ 603	通常貯金利子132円
合計	2,510,000	2,510,147	147	

支出の部

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備考
運営費	105,000	41,725	△ 63,275	郵送料、会議費
事業費	1,120,000	410,550	△ 709,450	活動費、生徒募集対策
教育振興費	1,030,000	792,290	△ 237,710	進路・生徒指導、学校保健、 学力充実
特別積立金	0	500,000	500,000	
助成	200,000	200,000	0	資格取得助成
予備費	55,000	0	△ 55,000	
合計	2,510,000	1,944,565	△ 565,435	

令和6年度 特別積立金報告

科目	繰越額	本年度積立額	利子	積立金合計
特別積立金	250,000	500,000	0	750,000

令和7年度 教育後援会 事業計画

- 生徒の教育活動に対する支援
(農業クラブ大会、ボランティア活動、高大連携事業等)
- 生徒の部活動に対する支援(大会参加に係る援助)
- 国際交流に対する支援(京都府農業学科高校生海外農業研修)
- 進路指導に対する援助・調査研究
(進路用書籍、インターンシップ、進路補習等)
- 生徒募集活動に対する支援(生徒募集広報用ポスター等)
- 教育環境の整備に対する援助
- 各種行事(入学式、卒業式等)への出席
- 農芸祭等の行事への開催協力
- 資格取得奨励制度事業
- 教育後援会報の発行
- その他、本会の目的達成に必要なことを行う

令和7年度 会計予算(案)

収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	565,582	393,365	172,217	前年度繰越額
会費	2,199,700	2,065,900	133,800	通常会費1,778,700円 終身会費421,000円
寄附金	50,000	50,000	0	
事業収入	0	0	0	農芸祭売上
雑収入	718	735	△ 17	利子
合計	2,816,000	2,510,000	306,000	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
運営費	105,000	105,000	0	郵送料、会議費
事務費	1,120,000	1,120,000	0	各種事業、生徒募集対策費
教育振興費	1,070,000	1,030,000	40,000	進路・生徒指導費、保健、 生徒活動費
特別積立金	300,000	0	300,000	
助成	200,000	200,000	0	資格取得助成
支払手数料	15,000	0	15,000	
予備費	6,000	55,000	△ 49,000	
合計	2,816,000	2,510,000	306,000	

会費及び寄附金についてのお願い

本会は、在校生・在職教職員の会費と、卒業生・卒業生保護者の会費、一般会員の寄附金(1口1,000円)で運営されています。出費多端の折、誠に恐縮に存じますが、御理解の上、御支援、御協力いただきますようお願い申し上げます。

- 一般会員寄附金 1口 1,000円
- 在校生・在職教職員会費 年 7,700円
- 卒業生・卒業生保護者会費 5,000円・3,000円(卒業時に納入)

※京都府立農芸高等学校教育後援会振替口座番号 (京都 01080-1-9234)

公益信託 農芸高校国際交流育成基金だより

国際交流育成基金では基金を運用し、海外研修をはじめ生徒の様々な研修活動を支援しています。

○令和6年度事業(概要)

- 〈海外農業研修補助〉(7名) 700,000円 台湾研修
- 〈国内農業研修補助〉(延べ 57名) 418,800円 農業クラブ全国大会、技能五輪全国大会、全日本ブラックアンドホワイトショウ、インターンシップ(ほか)
- 〈資格取得合格祝い金〉(延べ 79名) 156,300円 実用英語技能検定、日本農業技術検定、測量士補、造園技能検定、園芸装飾技能検定、情報処理技能検定 など

○令和7年度事業(中間報告)

前年度同様、生徒の国内・海外農業研修への補助、資格取得への合格祝い金の支給など、学習活動に対する支援を行っています。

○基金への寄附金のお願い

会員の皆さまからの基金へのご寄付をよろしくお願いたします。

令和7年度 3年生進路決定状況

令和8年2月4日現在

I. 進路希望状況

学科	就職	進学	未定	合計
農業生産科	13	14	0	27
(男子)	10	13	0	23
(女子)	3	1	0	4
園芸技術科	9	9	0	18
(男子)	8	9	0	17
(女子)	1	0	0	1
環境創造科	6	6	0	12
(男子)	5	6	0	11
(女子)	1	0	0	1
合計	28	29	0	57

II. 就職内定状況

内定者延べ人数 ※下記企業名は順不同

学科	農建設造園	製造	運輸通信	卸小売	サービス	福祉	公務員他	合計
農業生産科	2	5	1	3	2	0	0	13
園芸技術科	0	5	2	0	1	0	1	9
環境創造科	3	1	0	0	0	0	5	9
合計	5	11	3	3	3	0	6	31

農・建設・造園 幸福米穀株式会社、株式会社第一土木、株式会社日丸重機、NISSHA ビジネスサービス株式会社、沖之須牧場株式会社

製造 株式会社椿本チエイン長岡京工場《2名》、ダイセルビヨンド株式会社《2名》、株式会社湖池屋、日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社、NISSHA インダストリーズ株式会社、山崎製パン株式会社、株式会社鶴屋吉信、玉乃光酒造株式会社、渡辺製菓株式会社

運輸・通信 西日本旅客鉄道株式会社《2名》、日本郵政株式会社近畿支社

卸・小売 コーナン商事株式会社、京都食肉市場株式会社、株式会社ミナト

サービス セコム株式会社、株式会社ロイヤルホテル、株式会社王将フードサービス

公務員 京都市（土木）、京都府（農業）、堺市（造園）、長岡京市（土木）、城陽市（土木）、亀岡市（造園土木）

III. 進学合格状況

合格者延べ人数 ※下記学校名は順不同

学科	国公立大学	私立大学	短期大学	農業大学校	専修各種学校	合計
農業生産科	1	8	0	0	5	14
園芸技術科	0	6	0	1	2	9
環境創造科	2	3	0	0	1	6
合計	3	17	0	1	8	29

国立大学 北見工業大学（工学部）、琉球大学（農学部）

公立大学 福井県立大学（恐竜学部）

私立大学 東京農業大学（地域環境科学部）、龍谷大学（農学部）、佛教大学（文学部）、大谷大学（社会学部）、京都精華大学（メディア表現学部）、花園大学（社会福祉学部）、京都先端科学大学（経済経営学部）、光華大学（看護リハビリテーション学部）、明治国際医療大学（鍼灸学部）、中部大学（応用生物学部）、岡山理科大学（生物地球学部）、摂南大学（農学部）（理工学部）、酪農学園大学（食農環境学群）、吉備国際大学（農学部）、びわこ成蹊スポーツ大学（スポーツ学部）、阪南大学（経営学部）

大学校 京都府立農業大学校

専修各種学校 神戸動物植物環境専門学校《2名》、京都芸術デザイン専門学校、大阪 ECO 動物海洋専門学校、日産自動車大学校、京都府立高等技術専門学校、京都デザイン&テクノロジー専門学校、辻調理師専門学校

Instagram・ホームページで学校の魅力を発信中！！

Instagramで本校の学びを感じていただけます。生徒による教育活動の紹介もありますので是非フォローしてください。ホームページも「農芸日記」「農場の一日」などのページをご覧ください。多くの方の閲覧をお待ちしております。



Instagram



学校HP

台湾研修

12月23日からの4日間、校長を団長として府立高校農業学科の生徒7名が参加し、台南地域を中心に研修を行いました。これまで交流を図ってきた國立曾文高級農工職業学校も訪問しました。



台湾研修の様子

インターンシップ



畜産系コース

農業土木コース

農芸日記



体育祭



修学旅行（毛岐）



全国都市緑化びわフェア庭園制作



セントラルジャパンホールスタインショー（御殿場市）



西脇知事学校訪問



農芸祭（全員集合）



農業鑑定競技会



2級土木施工管理技士補 合格